

令和2（2020）年度

ひたちの国際交流

— 日立市の国際交流事業のあらまし —



日立市

目 次

はじめに	1
1 市内で実施されている国際交流事業	
(1) 日立市の取組	2
(2) 小・中学校の取組	4
(3) 高等学校・大学の取組	5
(4) 国際交流活動団体の取組	7
(5) その他市内団体の取組	13
2 国際親善姉妹都市のあらまし	
(1) バーミングハム市（アメリカ合衆国アラバマ州）	15
(2) タウランガ市（ニュージーランド ベイ・オブ・プレンティ地方）	16
(3) 姉妹都市データ（日立市との比較）	17
【参考】姉妹都市とは？	18
3 国際交流よくある質問FAQ	20
4 参考資料	
(1) 日立市内の在住外国人数	23
(2) 茨城県内の在住外国人数	25
(3) 茨城県の外国人労働者の状況	27
(4) 茨城県及び県内市町村の姉妹都市提携状況	28
(5) 日立市の国際交流のあゆみ（年表）	29



はじめに

このハンドブックは、令和2（2020）年度の日立市及び市内の関係団体などの国際交流活動の紹介、そして国際親善姉妹都市に関する情報などをまとめたものです。

いま、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大が人々の行動や意識に大きな変化をもたらし、また、人の往来や交流が制限されるなど、国際交流や多文化共生の推進に多大な影響が生じています。

本市においても、令和2年度は新型コロナウイルスの影響を受け、国際親善姉妹都市バーミングハム市及びタウランガ市からの来市者受入れやフレンドシップ・キルト展などの姉妹都市交流事業を始め、日立国際交流協議会が主催する在住外国人と市民の交流事業や多文化共生に関する研修会など、多くの事業が中止又は翌年度への延期を余儀なくされました。

一方で、新型コロナウイルス感染症との闘いは、国際親善姉妹都市との間で互いを思いやるやりとりが生まれるなど、これまでに培ってきた絆を更に強めるきっかけになったほか、市内で活動する国際交流団体間の連携を深めることにもなりました。

昨年6月、市民の感染防止に役立ててもらうため、国際親善姉妹都市バーミングハム市及びタウランガ市に家庭用マスク各2万枚を送付したところ、両市長から、「日立市もコロナ禍で大変な状況にある中、思いやりの気持ちに感謝しております。遠く離れていても、共に手を取り合い、この困難を乗り越えていきましょう」とのメッセージが届きました。

本市では、地域に暮らす外国人が安心して生活できるよう、日本語教育に関する支援や多言語による行政情報の提供、生活相談会の実施など、様々な取組を進めていますが、昨年は新たな取組として、日立市に住む外国人の皆さんに、新型コロナウイルスや災害などについての情報を正しく迅速に伝えるため、国際交流活動団体が連携・協力し、メッセージアプリ「LINE」を活用し、長年日立市で生活する方や留学生など、在住外国人のキーパーソンを通じた情報提供を始めました。

このように、今後も国際交流活動団体等と連携しながら、隣人としての外国人が地域に溶け込み、地域に活力を与える存在となるような仕組みづくりを進めていきたいと考えています。

このハンドブックが、市内の国際交流事業を理解する一助となり、私たち一人ひとりが「多文化共生」時代に対応した市民としての意識が深まりますことを期待しています。

本ハンドブックの作成にあたり、御協力いただきました皆様方に厚くお礼を申し上げます。

令和3年3月
日立市生活環境部文化・国際課

1 市内で実施されている国際交流事業

(1) 日立市の取組

◆文化・国際課（国際交流推進主管課） ※ウ～カは日立国際交流協議会との共催事業 （日立国際交流協議会については、P.7 参照）

ア 国際親善姉妹都市へのマスク送付 *6月

国際親善姉妹都市であるアメリカ合衆国アラバマ州バーミングハム市及びニュージーランド・タウランガ市宛てに各 20,000 枚のマスクを送付し、日立市と両姉妹都市との連携・交流の更なる促進を図った。

イ 外国人児童を対象としたプレスクールの試行的実施

*10月12日（月）～11月30日（月）の全17回／対象生徒2人

日立さくら日本語学校の協力のもと、指導課と連携し、市内の小学校に通学する外国人児童を対象としたプレスクールを試行的に実施し、プレスクールの有効性や本格実施に向けた課題の検証を進めた。

ウ 在住外国人向け無料相談会 *11月15日（日）／日立シビックセンター

在住外国人の生活支援の一環として、弁護士及び保健師、ケースワーカーによる生活・子育て相談会を実施し、6組11人の相談を受けた。

エ 海外・国内姉妹都市のキルト愛好家等の作品展示

*令和3（2021）年2月15日（月）～28日（日）／市役所正面玄関風除室

国際親善姉妹都市ニュージーランド・タウランガ市、国内親善・友好都市 群馬県桐生市、山形県山辺町のキルト愛好家等の作品及び姉妹都市の紹介パネルを展示した。

オ 国際交流ボランティア団体紹介番組「つなぐ ひろがる 国際交流」の放送 *通年

市内で活動する国際交流ボランティア団体の紹介番組を、ケーブルテレビ JWAY で放送した。

カ その他 *通年

市ホームページ及び市公式 SNS（Twitter・Facebook）等で在住外国人向けに新型コロナウイルス感染症や災害に関する情報等の各種生活情報を提供した。



在住外国人向け無料相談会



海外・国内姉妹都市のキルト愛好家等の作品展示

◆広報戦略課

国際交流ボランティア団体紹介番組「つなぐ ひろがる 国際交流」の放送 *通年

市内で活動する国際交流ボランティア団体の紹介番組を、ケーブルテレビ JWAY で放送した。

◆指導課

ア 外国語指導助手配置事業 *通年

市内小・中学校では、授業や休み時間を通してALTと接することにより、英語や外国文化に触れる・楽しむ活動を経て、英語でのコミュニケーション能力の素地・基礎を育成している。

また、市内幼稚園や特別支援学校にもALTを配置し、子供の発達段階や興味・関心に合わせて、各国の遊びを英語で行ったほか、行事、文化の紹介等を行った。

イ 学校通訳ボランティア派遣事業 *随時

日本語が不自由な児童・生徒（外国人等）が十分な教育を受けられるように、週1～2日、通訳ボランティアを派遣し、対象児童生徒の学校生活の支援を行った。

【参考】主な外国語表記刊行物

課所名	刊行物等	発行日等	内容
文化・国際課	在住外国人向け生活ガイドブック	平成 29(2017)年 3月	日立市で生活する際に必要な情報をまとめた外国人向けのガイドブック（英語・中国語）
	日立市文化振興指針（改訂版）	平成 29(2017)年 3月	日立市における今後の文化振興に関する基本的な考え方や、施策の基本的な方向性を示すために改訂した文化振興指針（一部に英語を併記）
	タウランガ市親善訪問団派遣報告書	平成 30(2018)年 3月	タウランガ市親善訪問団派遣における、「第6回姉妹都市会議」の結果等をまとめた報告書（英語併記）
広報戦略課	日立市勢要覧	平成 27(2015)年 12月	日立市の歴史、自然、観光、産業などの紹介、総合計画に基づいた現状と将来の展望及び統計資料を掲載した冊子（一部に英訳を併記）
観光物産課	観光ガイドマップ	平成 23(2011)年 11月	日立市の観光地等を紹介したガイドマップ（英語・中国語・韓国語）
	HITACHI CITY VISITOR'S GUIDE	平成 28(2016)年 10月	日立市の観光地、イベント行事、特産品等を紹介したパンフレット（英語）

(2) 小・中学校の取組（私立中学校を含む）

◆坂本小学校

ワールドキャラバン *令和3（2021）年2月5日（金）／参加者3・4年生131人

国際交流や異文化理解教育を目的として、外国人講師（中国、ポーランド出身）を招き、各国の文化や学校生活等について学んだ。

◆坂本中学校

ワールドキャラバン *12月9日（水）

国際交流や異文化理解教育を目的として、外国人講師（シリア出身）を招き、各国の文化や学校生活等について学んだ。

◆日立特別支援学校

A L T交流事業 *通年

英語に親しむことや異文化理解教育を目的として、A L Tを講師として、A L Tの自己紹介を聞いたり、ゲームを行った。

◆日立第一高等学校附属中学校

ブリティッシュヒルズでの語学研修 *10月29日（木）～31日（土）／参加者2年生80人

英語でのコミュニケーション能力の向上や、英国の文化と歴史を学習するため、ブリティッシュヒルズ（福島県岩瀬郡天栄村）において、外国人講師による語学研修を行った。



日立第一高等学校附属中学校語学研修の様子

(3) 高等学校・大学の取組

◆日立第一高等学校

ア 英語総合講座 *9月23日(水)～12月1日(火)の全12回/参加者11人

茨城キリスト教大学と連携し、英語環境の体験を目的として、英文法や英会話に関する授業をグループワークや講義形式で行った。

イ EUがあなたの学校にやってくる *11月9日(月)/参加者235人

EU加盟国の外交官(リトアニア共和国大使館職員)による、ヨーロッパの歴史や文化への理解を深めるための講義を開催した。

ウ ワールドキャラバン *11月16日(月)/参加者235人

多面的かつ複合的に国際社会を見る目を養うことを目的として、JICA(国際協力機構)職員を講師に招き、開発途上国への支援や「ODA」の役割について学んだ。

エ オンライン留学 *令和3(2021)年3月2日(火)～3月5日(金)/参加者11人

異文化理解及び実践的コミュニケーション能力育成を目的として、カナダ・ブリティッシュコロンビア大学の学生とSDGsに関するディスカッションをオンライン形式で行った。

◆日立工業専修学校

リモート国際交流 *令和3(2021)年3月15日(月)/参加者2年生72人

ニュージーランド・タウランガ市マウントマンガヌイカレッジの学生と異文化理解や国際交流を目的としたリモート交流会を実施し、生徒同士の交流を深めた。

◆茨城キリスト教学園高等学校

ア 長期留学生の受入れ *令和2(2020)年3月1日(日)～8月28日(金)

AFSプログラムにより留学したトルコ人学生の受入れを行った。

イ G.R.E.A.T. Program online *7月6日(月)～8月6日(木)/参加者2年生12人

姉妹校及び協力校である、アメリカ合衆国オクラホマ州Ada High School及びByng High Schoolの授業をオンライン形式で実施した。

ウ オンライン交流会 *8月4日(火)～8月5日(水)

姉妹校であるオーストラリア・ヴィクトリア州のBeaconhills Collegeで日本語を学習する学生への学習サポートをオンライン形式で実施した。

エ カナダバーチャル留学 *①令和3年(2021)3月16日(火)～20日(土)/参加者1年生26人

*②令和3年(2021)3月23日(火)～27日(土)/参加者2年生8人

カナダの高校の授業にオンラインで参加するバーチャル留学企画を実施した。

◆茨城キリスト教大学

ア 留学生の受入れ *4月~/受入人数 1人

ベトナム・ホーチミン市外国語情報技術大学からの留学を受け入れた。

イ 交換留学生の受入れ

日本語の習得及び日本文化等について理解を深めるとともに学生間の交流を図ることを目的として、ベトナムの協定校から交換留学生を受入れた。

(ア) ベトナム (ホーチミン市・ホーチミン市外国語情報技術大学)

*令和元(2019)年9月~令和3(2021)年3月/受入人数1人

(イ) ベトナム (フエ省・フエ大学外国語大学)

*令和元(2019)年9月~令和3(2021)年3月/受入人数1人

ウ 初級ベトナム語講座 *12月19日(土)~21日(月)/参加者9人

交換留学生と地域住民との交流の機会を設けるため、ベトナム人交換留学生が講師となりベトナム語講座を実施した。

エ 茨城キリスト教学園外国人留学生奨学援助金 *通年

外国人留学生及び大学付属研究所等に所属して研究を行う外国人研究生に、就学・研究の援助金を支給した。



(4) 国際交流活動団体の取組 ※ 団体紹介

◆ 日立国際交流協議会 (事務局：日立市文化・国際課) ※市との共催事業については、P.5 参照

昭和 55 (1980) 年にバーミングハム市 (アメリカ合衆国アラバマ州) から姉妹都市提携の申出を受けたことがきっかけとなり、翌年に市内企業・教育機関・市民団体等を会員とした「姉妹都市提携協議会」として発足し、バーミングハム市との姉妹都市提携促進活動を行った。その後、昭和 57 (1982) 年に姉妹都市提携協議会を発展させた「日立姉妹都市協議会」を発足して、同年 4 月 23 日にバーミングハム市との姉妹都市提携に尽力した。

昭和 63 (1988) 年 4 月 17 日にはタウランガ市 (ニュージーランド) とも姉妹都市提携し、市民の国際交流活動も広がりを見せていたことから「日立姉妹都市協議会」を発展的に改組し、平成元 (1989) 年 5 月に「日立国際交流協議会」として発足した。

現在は、各種機関・団体のネットワークを通じて、姉妹都市交流を始めとした国際交流や在住外国人への生活サポートなどの活動を市民レベルで推進し、市の国際交流活動の中心的な役割を担っている。

* 設立年月日 昭和 56 (1981) 年 10 月

* 代表者 ジム・D・バットン (会長)

* 会員数 34 団体 (令和 3 (2021) 年 2 月末現在)

* 連絡先 日立国際交流協議会事務局 (日立市文化・国際課内)

TEL : 0294 (22) 3111 (内線 535) メールアドレス : kokubun@city.hitachi.lg.jp

ア 日本語ボランティア養成講座 *8月29日(土)~11月28日(土)の全8回/参加者14人

市内の日本語教室において、外国人に日本語を教えるボランティア講師を養成するため、初心者を対象とした入門講座を実施した。

イ 日本語ボランティア・ステップアップ講座 (オンライン講座)

*令和3(2021)年2月27日(土)、3月6日(土)/参加者13人

市内の日本語教室において、外国人に日本語を教えるボランティアの能力向上を図る講座をオンライン形式で実施した。

ウ 国際交流事業助成金の支給 *通年

会員団体が国際交流事業又は日本語教室運営等を実施する際の活動助成金を支給した。



ボランティア養成講座の様子 (右：ステップアップ講座 左：養成講座)

◆国際交流ボランティアネットワークさくら

ボランティア一人ひとりをネットワークすることを目的に発足。「身近に出来ることから国際交流を考え行動しよう」をモットーに、さくらの五弁の花びらにちなみ、5つの分野（語学、支援、研修、文化交流、ホームステイ・ビジット）で活動を展開している。

*設立年月日 平成2（1990）年11月10日

*代表者 臼井 多賀子（代表世話人）

*会員数 50人（令和3（2021）年2月現在）

*連絡先 臼井 多賀子

TEL：0294（34）6257 メールアドレス：takako_usui2002@yahoo.co.jp

ア 在住外国人向け日本語教室 *通年（毎週木曜日、土曜日）

イ インターナショナルカフェ *11月15日（日）／参加者46人

国際理解を目的として、外国人（中国、フィリピン、ベトナム出身）パネリスト4名を招待し、災害、学校生活、食をテーマにディスカッションを行った。

※第18回ひたち国際文化まつりにおいて開催



インターナショナルカフェの様子

◆フレンドリーあんず

「茨城アジア教育基金」を支える会に協力し、平和な国際社会を目指して世界諸国の人々と交流し、互いに理解を深め、共に生きる喜びを分かち合うことを目的に活動している。

*設立年月日 昭和 60 (1985) 年 7 月 19 日

*代 表 者 長山 明子 (会長)

*会 員 数 49 人 (令和 3 (2021) 年 2 月現在)

*連 絡 先 長山 明子

TEL : 0294 (36) 5440 メールアドレス : a_naga_a@yahoo.co.jp

ア 在住外国人向け日本語教室 *通年 (毎週火曜日、金曜日)

イ 第 18 回ひたち国際文化まつりでの世界の文化紹介 *11 月 15 日 (日) /日立シビックセンター
広く市民に国際理解を深めてもらうことを目的に、世界の国々の文化を紹介する写真や、ラオス国の子どもたちの写真展示、民族クラフト品の展示販売、ベトナムの竹とんぼの体験等を実施した。



ひたち国際文化まつりの様子

◆ガールスカウト日立市国際交流委員会

ガールスカウトの教育理念に基づき、少女たちを支える指導者の育成と資質向上を目指した活動を実施している。

*設立年月日 昭和 54 (1979) 年 4 月

*代 表 者 菊地 清恵 (委員長)

*会 員 数 40 人 (令和 3 (2021) 年 2 月現在)

*連 絡 先 菊地 清恵

メールアドレス : g.s.kokusai@gmail.com

ア 第 18 回ひたち国際文化まつりでの情報発信 *11 月 15 日 (日) /日立シビックセンター
国際交流事業に関する広報活動の一環として、SNSを通じた情報発信を行った。

イ ガールスカウト姉妹都市 20 周年記念 T シャツコンペティション *令和 3 (2021) 年 2 月
ニュージーランド・タウランガ市との姉妹都市交流 20 周年を記念し、タウランガ市のガールガイドと共同で T シャツを作成した。

◆日本語の部屋

県民大学「日本語指導基礎講座」修了生によって設立。会員の地域生活者としての力と日本語支援スキルを活用して、在住外国人のための日本語教室の開催を始め外国人学習者との交流事業等を実施している。

*設立年月日 平成 21 (2009) 年 4 月 1 日

*代表者 三木 明子 (代表)

*会員数 14 人 (令和 3 (2021) 年 2 月現在)

*連絡先 三木 明子

TEL : 0294 (38) 3816 メールアドレス : miki5989@yahoo.co.jp

在住外国人向け日本語教室 *通年 (毎週木曜日、土曜日)



在住外国人向け日本語教室の様子

キウイ バルカン ヒタチ

◆KIWI-VULCAN-HITACHI

日立市の国際親善姉妹都市であるタウランガ市・バーミングハム市の市民と、さまざまな交流を通して友情を育み、互いの文化を学び、より深く理解することを目標に活動している。

*設立年月日 平成 15 (2003) 年 10 月

*代表者 森村 由美子 (会長)

*会員数 20 人 (令和 3 (2021) 年 2 月現在)

*連絡先 森村 由美子

TEL : 0294 (37) 1483 メールアドレス : morimura@dune.ocn.ne.jp

姉妹都市交流検討会 *通年

ニュージーランド・タウランガ市民との今後の姉妹都市交流事業についての検討会を行った。

◆ひたちとアジアの文化交流をすすめる会

アジア文化を広く市民に紹介し、その裾野を広げていくため、「アジア諸国との文化交流」をキーワードに組織された市民ボランティアネットワーク。「ひたち国際文化まつり」の開催を中心に、各種活動を実施している。

- *設立年月日 平成9（1997）年4月
- *代表者 小澤 紀夫（会長）
- *会員数 130人（令和3（2021）年3月現在）
- *連絡先 ひたちとアジアの文化交流をすすめる会事務局（担当：荒川）
（日立シビックセンター交流事業課内）
TEL：0294（24）7711 メールアドレス：salon@civic.jp

ア ビデオ料理講座 *11月11日（水）～15日（日）／参加者400人（延べ人数）

国際交流の推進や異文化理解を目的として、ベトナム人留学生2名を講師として招き、ベトナムの家庭料理の作り方についての上映会を行い、参加者にはレシピを配布した。

イ 第18回ひたち国際文化まつりの開催

*11月15日（日）／日立シビックセンター／参加者900人（延べ人数）

広く市民に世界各国の文化を紹介し、国際交流や異文化に関する理解を深めてもらうことを目的として国際文化まつりを開催。日立市内の国際交流団体の活動紹介や、外国人からのビデオメッセージの上演会などを実施した。

◆カンボジアの子ども達に夢と希望を贈る市民の会

「カンボジアの子ども達に夢と希望を贈る」をモットーに、日本とカンボジアの子どもたちのスポーツ交流を通じた仲間づくりや協調精神の養成を支援し、将来、日本及びカンボジアの中核となる青少年を育成することを目的に活動を実施している。

- *設立年月日 平成23（2011）年10月
- *代表者 菊池 和雄（代表）
- *会員数 26名（令和3（2021）年2月現在）
- *連絡先 菊池 和雄
TEL：0294（43）4827 メールアドレス：iha-kikuchi@net1.jway.ne.jp

写真展の開催 *11月11日（水）～14日（土）／日立シビックセンター

第18回ひたち国際文化まつりにおいて「カンボジアの子供達とサッカー及び文化」と題した写真展を開催し、カンボジアの子供達の現状について、広く市民に周知した。

◆日立市日中友好協会

平成8（1996）年5月に「茨城県日中友好協会」が発足したことを受けて結成。日本と中華人民共和国の様々な分野（文化、教育、経済）に渡る友好交流や留学生・研修生等との交流、支援を目的に活動している。

*設立年月日 平成8（1996）年6月

*代表者 森 秀男（会長）

*会員数 60人（令和3（2021）年2月現在）

*連絡先 白土 照男

TEL：0294（33）2100 メールアドレス：s.teruo.0212@docomo.ne.jp

ア パンダアート日立市内展 *11月7日（土）～15日（日）／日立シビックセンター／応募総数480点
日立市内の各小中学校、高校からパンダに関する絵画作品を募り、320点の作品展示を行った。
※第18回ひたち国際文化まつりにおいて開催

イ パンダの広場 *11月15日（日）／日立シビックセンター
日立市のパンダ誘致活動の一環として、市民向けに「パンダの広場」と題する展示コーナーを作成し、パンダについての広報活動を実施した。



パンダアート日立市内展の様子



パンダの広場の様子

◆日立ユネスコ協会

ユネスコ憲章の精神にのっとり、世界寺子屋運動や国際交流など様々な活動を行うとともに、市民と共に地域の平和づくりを広めることを目的に活動している。

*設立年月日 昭和61（1986）年3月

*代表者 立花 俊一（会長）

*会員数 20人（令和3（2021）年2月現在）

*連絡先 藤原 智子

TEL：0294（35）6034 メールアドレス：tomokofuwawa@mail.goo.ne.jp

書き損じはがきキャンペーン *令和3（2021）年1月～3月

「ペンが武器よりも強し」、国際平和活動「ユネスコ世界寺子屋運動」の一環として、市内小中学校、交流センター等に協力を依頼し、書き損じはがきの回収を行った。

(5) その他市内団体の取組

◆ひたち生き生き百年塾

ア 第18回ひたち国際文化まつりでの姉妹都市交流事業紹介

*11月15日(日) / 日立シビックセンター

国際交流や異文化に関する理解を深めてもらうことを目的として、日立市の子供たちがアメリカ合衆国アラバマ州バーミングハム市やニュージーランド・タウランガ市と行った、メール交換の様子をパネルで紹介した。

イ ワールドツアー ～ポーランド編 *令和3年(2021)年2月27日(土) / 参加者20名

ポーランド人講師を招き、「大人の異文化理解」講座を開催し、ギター演奏やショパンの国の文化と歴史を紹介した。

◆日立さくら日本語学校

ア 外国人への学習支援 *通年

留学生、就労者への日本語指導及び企業への日本語講師派遣を行った。

イ 外国人児童を対象としたプレスクールの試行的実施

*10月12日(月)～11月30日(月)の全17回 / 対象生徒2人

市が実施した外国人児童を対象としたプレスクール(試行的実施)に協力し、外国人児童に対する日本語の指導等を行ったほか、プレスクールの本格実施に向けた課題の検討等を行った。

ウ 茨城県外国人介護人材受入環境整備事業への協力

*12月3日(木)～3月24日(水)の全12回 / 対象外国人30人 日本人職員40人

県内の外国人介護人材への日本語指導及び、受け入れ事業所の日本人職員向けに異文化コミュニケーションの研修を行った。



外国人への学習支援の様子



外国人児童を対象としたプレスクール

◆日立北ロータリークラブ

米山記念奨学生の受入れ *通年

茨城大学の米山記念奨学生（中国出身）を準世話クラブとして受入れ、支援した。

◆日立南ロータリークラブ

米山記念奨学生の受入れ *通年

茨城大学の米山記念奨学生（中国出身）を世話クラブとして受入れ、支援した。

◆日立港ロータリークラブ

米山記念奨学会世話クラブ *通年

茨城大学の米山記念奨学生（中国出身）を世話クラブとして受入れ、支援した。

◆日立ライオンズクラブ

中古メガネ回収、物資送付

眼鏡の購入が困難な海外諸国への支援を目的として、市内4か所の図書館及び日立市役所1階、協力眼科5か所にメガネ回収BOXを設置し、市民から寄付された中古メガネを、アメリカのライオンズクラブ専用施設へ送付した。



図書館に設置したメガネ回収BOX

2 国際親善姉妹都市のあらまし

(1) バーミングハム市（アメリカ合衆国アラバマ州）

バーミングハム市は、アメリカ合衆国南東部アラバマ州の中心都市です。市内には、日本庭園も含め数多くの公園があり、豊かな生活環境を持ったまちです。まちのシンボルである「バルカン像」（ローマ神話に登場する火と鍛冶の神）は、このまちが鉄鋼業によって目覚ましい発展を遂げた歴史を表しています。

現在は、がん治療、エイズ研究、臓器移植などの最先端診療施設を有するアラバマ大学バーミングハム校医学部をはじめ、多くの先端専門医療センターが集積し、国際的な医療の中心地となっています。また、ロボット、航空・宇宙工学、バイオテクノロジーなどのハイテク企業が数多く進出し、経済活動が活発なまちとしても知られています。

また、バーミングハム市は、『青春』の詩で知られるサミュエル・ウルマンの出身地としても有名で、ウルマン記念館や南部最大の市立美術館、飛行博物館などがある文化都市です。毎年、「アート・フェスティバル」など数多くのイベントが開催され、世界の様々な国々との芸術文化交流を行っています。

日立市と同じく鉱業のまちとして発展した点がきっかけとなり、昭和 57（1982）年 4 月 23 日に国際親善姉妹都市の提携をしました。その後、市民訪問団・市内高校生のバーミングハム市訪問、キルト文化を通じた交流など幅広い交流が行われています。



バーミングハム市の中心市街地



サミュエル・ウルマンの胸像

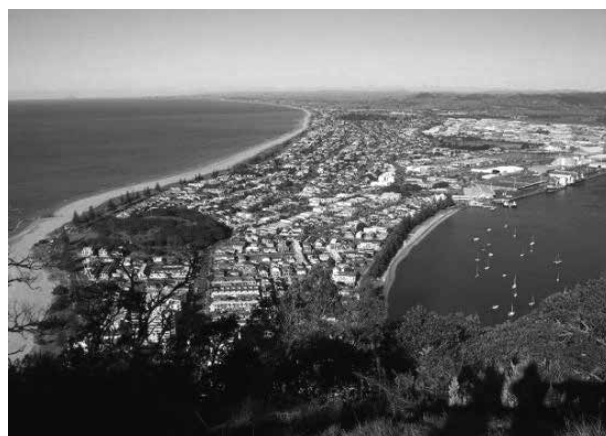
(2) タウランガ市（ニュージーランド）

タウランガ市は、ニュージーランド国北島の北東部に位置し、プレンティ湾という美しい海に面したまちです。「タウランガ」とは、この地域の先住民族であるマオリ族の言葉で、“^{いかり}囲まれた水” “カヌーの錨を降ろす場所” という意味です。

古くはカヌーによる海上交通の中継地として発展してきた歴史があり、現在でもニュージーランド国最大規模の商業港であるタウランガ港を経済の中心に発展しています。近年では、国内で最も人口の伸びをみせるまちの一つとなり、平成 30（2018）年の人口は約 14.1 万人と、平成 18（2006）年国勢調査時の約 10.4 万人に比べると、12 年間で約 35.5%の増加となっています。

気候は一年中温暖で、キウイフルーツやアボカド、柑橘系の果樹栽培が盛んです。また、豊かな自然と美しい海岸線を持ち、国内でも有数のリゾート地でもあります。特に、夏の間はマリンスポーツを楽しむ観光客でにぎわい、訪れる観光客は年間約 50 万人にもものぼります。

日立市とは、市民みこし訪問団や青少年の交流を通して、昭和 63（1988）年 4 月 18 日に国際親善姉妹都市の提携をしました。その後、ロータリークラブ、ガールスカウトの姉妹クラブの提携や文化・スポーツ交流など幅広い交流が行われています。



タウランガ市全景



タウランガ市内のマリーナ

(3) 姉妹都市データ（日立市との比較）

※令和2（2020）年12月末日現在のデータに基づき作成

項目	バーミングハム市	タウランガ市	日立市
市章			
国	アメリカ合衆国	ニュージーランド	日本国
市制施行	明治4(1871)年12月19日	昭和38(1963)年4月17日	昭和14(1939)年9月1日
市長	ランドル・ウッドフィン	テンビー・パウウェル	小川春樹
位置	北緯33度34分 西経86度45分	南緯37度42分01秒 東経176度09分51秒	北緯36度35分56秒 東経140度39分02秒
面積	393.5 km ²	168 km ²	225.86 km ²
人口	207,235人 (令和2(2020)年統計)	151,300人 (令和2(2020)年6月末現在)	173,412人 (令和2(2020)年12月1日現在)
年平均気温	17.2℃ (令和2(2020)年平均気温)	14.4℃ (令和2(2020)年統計)	15.1℃ (令和2(2020)年平均気温)
年間降水量	1,367 mm (令和2(2020)年統計)	1,369 mm (令和2(2020)年統計)	1,391 mm (令和2(2020)年統計)
通貨	アメリカドル	ニュージーランドドル	日本円
主要産業	医療サービス 医療機器製造業	園芸(キウイフルーツ・亜熱帯性果実)、農業、草花栽培、港湾業	工業 農業
議員の数	9人	10人	28人
日本からの距離	約11,600 km	約8,900 km	—
日本との時差 (夏時間)	11～3月 -15時間 4～10月 -14時間	4～9月 +3時間 10～3月 +4時間	—
飛行機での 所要時間	約14時間	約10～13時間	—
姉妹都市提携 年月日	昭和57(1982)年 4月23日	昭和63(1988)年 4月18日	—

【参考】 姉妹都市とは？

■姉妹都市提携の定義・意義とは

世界で最初の姉妹都市提携は、明治 26（1893）年にスイスのベルン市とアメリカ合衆国ニューベルン市との間で締結されたと言われています。

わが国における海外自治体との姉妹都市交流提携は、昭和 30（1955）年 12 月に長崎市とセントポール市（アメリカ合衆国ミネソタ州）の間で結ばれたことに始まり、それから半世紀以上が経った現在、姉妹都市提携をしている自治体は 883 団体、提携件数は 1,762 件（都道府県 167 件、市区町村 1,595 件）で、相手国は 70 カ国・地域に達しています（※）。

※令和 3（2021）年 3 月 1 日現在（一財）自治体国際化協会調査

姉妹都市の定義については、法律上定められているものはありません。本来、交流というものは、人と人が触れ合うことであり、自由な発想のもとに行われるものであることから、定義づけをすることにはなじまないという理由からと考えられます。

広辞苑（岩波書店）によると、姉妹都市とは「文化交流や親善を目的として結びついた国際的な都市」と説明されています。

（一財）自治体国際化協会調査では、姉妹都市に関する統計処理を行ううえで、一定の判断基準を設けないと不都合が生じることから、次に掲げる要件のすべてに該当するときは、「姉妹（友好）自治体」として取り扱うこととしています。

- (1) 両首長による提携書があること
- (2) 交流分野が特定のものに限られていないこと
- (3) 交流するに当たって、何らかの予算措置が必要になるものと考えられることから、議会の承認を得ていること

また、「姉妹都市」「友好都市」「友好交流都市」などの名称により、自治体同士で行われている都市間交流について上記 3 点の基準を満たしていれば、（一財）自治体国際化協会調査では「姉妹（友好）自治体」として取り扱うこととしています。

姉妹自治体交流は自治体が行う国際交流を推進する典型的な手法の一つです。住民が参加できる機会も多いことから、国際交流施策の中核として重要なものとなっています。

姉妹自治体交流には、相互理解や国際親善の推進、地域の振興・活性化、さらには国際社会の平和と繁栄への貢献といったことが期待されています。

姉妹自治体交流を通じて、相手地域のニーズを的確に把握し、きめ細かな交流を行うことにより、儀礼的な友好親善を目的とするものにとどまらず、人的交流、文化交流、さらには、技術・経済交流といった共通の目的を持ち、相互協力まで発展しているものもあります。

■姉妹都市提携の上位 10 カ国

①	アメリカ合衆国	458 件	⑥	ブラジル	58 件
②	中国	375 件	⑦	ドイツ	56 件
③	大韓民国	165 件	⑧	フランス	54 件
④	オーストラリア	107 件	⑨	ロシア連邦	48 件
⑤	カナダ	72 件	⑩	ニュージーランド	44 件

※令和 3（2021）年 3 月 1 日現在（一財）自治体国際化協会調査

■姉妹都市の呼称の由来

日本では「姉妹都市」という呼び方が一般的に使用されていますが、これは元々アメリカで「Sister city」と呼ばれたことから、それを直訳した「姉妹都市」という呼び方が今日まで多く採用されてきたものと思われます。

なお、イギリスでは「Twin City（双子都市）」と呼ばれることが多く、フランスでは「ville jumelle」、イタリアでは「citta gemellare」と「Twin」に相当する言葉が使われているようです。

ドイツでは「Partnerstadt（パートナー都市）」と呼ばれることが多く、オーストリアでは「Schwesterstadt」、スペインでは「ciudad hermana」、ポルトガルでは「cidade irma」という「Sister」に相当する言葉、ロシアでは「Города-Побратнмы」という「Brother」に相当する言葉が使われています。

また、中国との提携の場合には、「姉妹」を用いると、どちらが姉か妹かという上下関係の問題が生じることから、「姉妹都市」という言い方は避け「友好都市」という呼称が用いられています。

韓国との提携の場合には従来、国（行政自治部）の承認を得たものが「姉妹都市」とされてきました。しかし、2004 年から行政自治部の承認が不要となったので「姉妹都市」「友好都市」の差異はないと思われれます。

最近行われている提携では、中国との間だけでなくいろいろな国との間で「友好都市」、「友好交流都市」などという名称が見受けられるようになりました。「姉妹都市の前段階としての友好都市締結」や「姉妹都市交流ではないが、交流は続けたい」ということで「友好都市」提携を結んでいる自治体も多く見られます。

【参考文献：（一財）自治体国際化協会「姉妹（友好）提携情報」より】



3 国際交流よくある質問 F A Q

(1) 外国語で相談したいときは…？

(公財) 茨城県国際交流協会では外国人の皆さんのために、法律、在留、労働、結婚、教育、そのほか生活全般についての相談受付をしています。相談できる言語は曜日によって異なりますので、電話・面接などでご相談ください。相談料金は無料です。

また、法律上の専門的な相談が必要な方のために、月に2回、無料の弁護士相談会をしています(予約が必要です)。

外国人相談センター TEL 029-244-3811 (午前8時30分から午後5時まで)

各言語相談日一覧

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
日本語・英語・その他				
ベトナム語	韓国語	タイ語	ポルトガル語	タイ語
	スペイン語	中国語	タガログ語	
中国語 (午後1時30分から)	ベトナム語	ベトナム語	インドネシア語	
	インドネシア語 (午後1時30分から)			

※その他の言語については、相談員が翻訳機器等を活用するなどして対応します。

(2) ホームステイの受入れをやってみたいときは…？

海外から青少年グループなどが来市する際に、市ではホームステイのご協力をいただけるホストファミリーを募集しています。ホストファミリーの募集は、市報等でお知らせします。



(3) 国際交流に関するボランティア活動をやってみたいときは…？

市内には、国際交流を目的として活動している、さまざまなボランティア団体があります。団体によって活動内容が異なりますので、詳細については、各団体にお問い合わせください。

※各団体の紹介及び問合せ先は、P. 7～P. 14の国際交流活動団体のページに記載してあります。

(連絡先の掲載がない団体については、文化・国際課にお問い合わせください。)

(4) 日本語ボランティアとして活動したいときは…？

日立市には、日本語ボランティア活動を行う団体が3つあり、それらの教室に所属することで活動することができます。在住外国人に日本語を教える日本語ボランティア活動をするためには、特別な資格や条件は必要ありません。

団体によって開催曜日や時間が異なりますので、詳しくは、各団体の日本語教室の担当者にお問い合わせください。

■国際交流ボランティアネットワークさくら

	教室 1	教室 2
曜日	木曜日	土曜日
時間	10：00～11：30	10：00～11：30
会費	2,000 円 (6 ヶ月)	
場所	教育プラザ (日立市神峰町 1-6-11)	女性センター (日立市鮎川町 1-1-10)
連絡先	折笠 聡 0294 (21) 6703	池田 昭二 0294 (34) 4725

■フレンドリーあんず

	教室 1	教室 2
曜日	火曜日	金曜日
時間	19：00～20：50	14：00～16：00
会費	300 円 (1 ヶ月)	
場所	女性センター (日立市鮎川町 1-1-10)	教育プラザ (日立市神峰町 1-6-11)
連絡先	庄司 基幸 0294 (42) 4448	長山 明子 0294 (36) 5440

■日本語の部屋

	教室 1	教室 2
曜日	木曜日	土曜日
時間	18：00～20：00	10：00～12：00
会費	1,000 円 (2 ヶ月)	
場所	十王交流センター (日立市十王町友部 129-2)	県北生涯学習センター (日立市十王町友部 2581)
連絡先	横場 美代子 0294 (23) 0174	緑川 宮文 0293 (42) 6210

■国際交流ボランティアネットワークさくら *ボランティアスタッフ 28 名/外国人生徒数 22 名

【担当者コメント】 毎週対面形式で楽しく活動しておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響によりオンライン形式での受講も可能です。受講者は初めて日本語を勉強する方から、日本語能力試験 N1 を合格された上級者の方まで幅広く在籍しています。
外国人の皆さん！私たちと楽しく日本語を勉強しませんか。



■フレンドリーあんず *ボランティアスタッフ 22 名/外国人生徒数 41 名

【担当者コメント】 みなさん一緒に日本語ボランティア活動をしませんか！日本にいながら国際交流が出来ます。世界の文化を身近に感じられます。外国人の皆さん、フレンドリーに日本語と日本について一緒に楽しく学びましょう！働いている人、学生、主婦の皆さん、どなたでも、いつでも大歓迎です。



■日本語の部屋 *ボランティアスタッフ 14 名/外国人生徒数 30 名

【担当者コメント】 日本語の部屋の教室は JR 十王駅の近くです。学習者一人ひとりのレベルや目的に合わせた勉強をしています。ぜひ一緒に日本語を勉強しましょう！

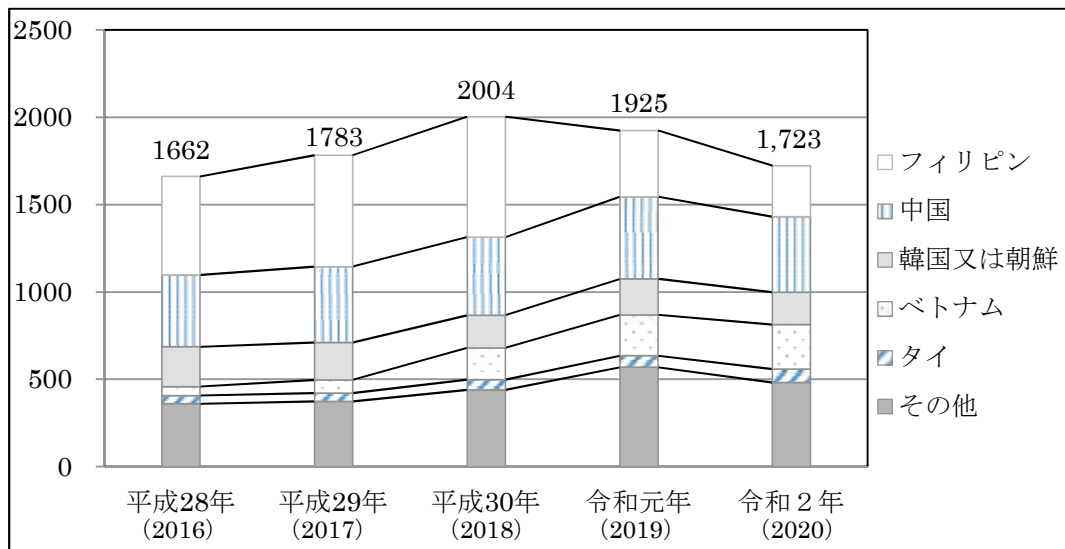


※各グループ、ボランティアスタッフ及び外国人生徒数は令和 2 年 1 月 1 日現在の数値

4 参考資料

(1) 日立市内の在住外国人数

ア 在住外国人数の推移



イ 国別外国人数の推移

(各年12月末日現在 単位：人)

国名 \ 年	平成28年 (2016)	平成29年 (2017)	平成30年 (2018)	令和元年 (2019)	令和2年 (2020)
フィリピン	564	638	690	379	291
中国	411	434	446	470	432
韓国又は朝鮮	228	214	187	206	186
ベトナム	51	75	182	234	255
タイ	47	47	59	66	76
米国	42	40	45	40	40
インド	38	39	41	52	39
マレーシア	35	38	41	40	40
ネパール	34	34	59	69	43
スリランカ	25	25	28	35	20
インドネシア	25	39	21	29	26
ブラジル	19	24	23	68	44
ペルー	15	14	15	15	14
英国	13	14	14	12	12
バングラデシュ	12	5	9	11	11
パキスタン	8	9	10	18	13
その他	95	95	134	181	181
登録者数合計	1,662	1,783	2,004	1,925	1,723
登録国数 (単位：国)	42	44	44	47	46

ウ 在留資格別外国人数

(令和2(2020)年12月末日現在 単位:人)

在留資格	登録者数	在留資格	登録者数
教授	2	留学	161
研究	4	家族滞在	98
教育	27	特定活動	106
技術	1	特別永住者	129
人文知識・国際業務	1	日本人の配偶者等	93
企業内転勤	18	永住者の配偶者等	22
技能	20	定住者	82
技能実習1号ロ	25	特定技能1号	9
技能実習2号イ	7	高度専門職1号ロ	16
技能実習2号ロ	243	高度専門職2号	1
経営・管理	3	永住者	473
技術・人文知識・国際業務	170	在留資格なし	1
技能実習3号ロ	8		
介護	1		
文化活動	2		
合計①	532	合計②	1,191
* 令和2(2020)年12月末日現在在在外国人登録者数(①+②)1,723人			

エ 市内大学の留学生数の推移

(各年5月1日現在 単位:人)

大学名 \ 年	平成28年 (2016)	平成29年 (2017)	平成30年 (2018)	令和元年 (2019)	令和2年 (2020)
茨城大学工学部及び理工学研究科	132	136	144	147	137
茨城キリスト教大学	11	10	12	12	3
留学生合計	143	146	156	159	140

注) 留学生とは、在留資格が「留学」の者である。

(2) 茨城県内の在住外国人数

ア 県内国籍別外国人数

(各年12月末日現在、令和2(2020)年及び令和3年(2021)は1月1日現在 単位：人)

国名 \ 年	平成28年 (2016)	平成29年 (2017)	平成30年 (2018)	令和2年 (2020)	令和3年 (2021)
中国	12,279	12,519	12,788	13,390	12,676
ベトナム	4,235	5,913	7,509	9,499	10,975
フィリピン	9,188	9,907	10,111	9,910	9,763
ブラジル	5,362	5,507	5,577	5,901	5,842
タイ	4,492	4,612	4,682	4,836	4,946
インドネシア	3,050	3,465	3,692	4,235	4,162
韓国又は朝鮮	4,673	4,586	4,533	4,530	4,116
スリランカ	1,668	2,230	2,369	2,719	2,980
ペルー	1,558	1,572	1,555	1,569	1,556
台湾	1,287	1,326	1,309	1,343	1,225
その他	8,747	9,994	10,582	11,596	12,674
登録者数合計	56,539	61,631	64,707	69,528	70,915
登録国数(単位：国) ※無国籍を除く	158	156	147	150	150

<県女性活躍・県民協働課調べ>

イ 県内市町村別外国人数

(令和3(2021)年1月1日現在)

順位	市町村名	登録者数(人)	順位	市町村名	登録者数(人)
1	つくば市	9,650	11	取手市	2,181
2	常総市	5,514	12	下妻市	2,167
3	土浦市	4,363	13	龍ヶ崎市	2,124
4	古河市	3,863	14	ひたちなか市	1,798
5	水戸市	3,535	15	日立市	1,721
6	坂東市	2,909	16	小美玉市	1,675
7	筑西市	2,855	17	牛久市	1,406
8	鉾田市	2,799	18	八千代町	1,309
9	神栖市	2,603	19	かすみがうら市	1,272
10	結城市	2,454	20	境町	1,263

<県女性活躍・県民協働課調べ>

注) 上記は、県内各市町村が令和3(2021)年1月1日現在現在の外国人登録人員数を法務省に報告する「期報」を県がとりまとめた数値であり、出国等による登録抹消に係る処理は行われていない。(市町村集計速報値)

ウ 県内市町村・人口に占める外国人の割合

(単位：人)

	市町村名	外国人登録者数 (A)	人口 (B)	人口比 (A/B)
1	常総市	5,514	59,199	9.31%
2	八千代町	1,309	20,835	6.28%
3	銚田市	2,799	45,857	6.10%
4	坂東市	2,909	51,522	5.65%
5	大洗町	827	15,739	5.25%
5	境町	1,263	24,079	5.25%
7	下妻市	2,167	41,561	5.21%
8	結城市	2,454	50,219	4.89%
9	つくば市	9,650	245,958	3.92%
10	小美玉市	1,675	48,608	3.45%
11	行方市	1,079	31,878	3.38%
12	稲敷市	1,246	38,970	3.20%
13	かすみがうら市	1,272	40,145	3.17%
14	土浦市	4,363	137,898	3.16%
15	五霞町	243	8,141	2.98%
16	筑西市	2,855	99,841	2.86%
17	古河市	3,863	138,375	2.79%
17	龍ヶ崎市	76,091	76,091	2.79%
19	神栖市	2,603	95,422	2.73%
20	美浦村	386	14,393	2.68%
21	利根町	366	15,128	2.42%
22	茨城町	674	31,369	2.15%
23	取手市	2,181	104,750	2.08%
24	阿見町	979	48,059	2.04%
25	河内町	160	8,237	1.94%
26	牛久市	1,406	84,621	1.66%
27	守谷市	1,130	68,885	1.64%
28	石岡市	1,103	72,033	1.53%
29	鹿島市	1,002	67,049	1.49%
30	潮来市	377	27,418	1.38%
31	水戸市	3,535	269,231	1.31%
32	つくばみらい市	657	51,155	1.28%
33	ひたちなか市	1,798	154,400	1.16%
34	桜川市	439	38,777	1.13%
35	笠間市	819	73,589	1.11%
36	北茨城市	416	41,443	1.00%
37	日立市	1,721	173,232	0.99%
38	東海村	319	37,685	0.85%
39	高萩市	229	27,337	0.84%
40	常陸大宮市	315	38,964	0.81%
40	城里町	103	17,965	0.57%
42	大子町	89	15,564	0.57%
43	那珂市	295	53,104	0.56%
44	常陸太田市	201	47,773	0.42%
	合 計	70,915	2,852,499	2.49%

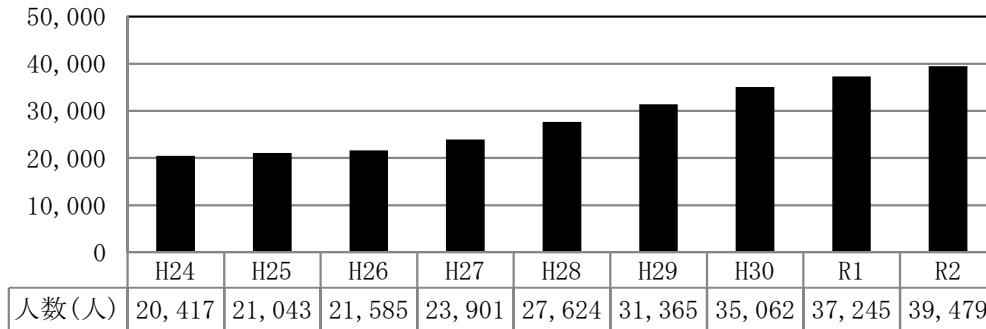
< 県女性活躍・県民協働課調べ >

注) 外国人登録者数及び人口は、令和3(2021)年1月1日現在の数値

(3) 外国人労働者の状況（令和2年10月末現在）

（厚生労働省「外国人雇用状況」の届出状況まとめ）（茨城労働局「茨城県の外国人雇用届出状況」）

ア 茨城県の外国人労働者数 39,479人 [対前年比：6.0%増（2,234人増）]



イ 外国人労働者数上位都道府県

単位：人、所、（%）

No.	都道府県	外国人労働者数			構成比	事業所数			構成比
			うち派遣・請負労働者(比率)			うち派遣・請負事業所(比率)			
1	東京都	496,954	85,160 (17.1)	28.8	69,957	4,923 (7.0)	26.2		
2	愛知県	175,114	50,126 (28.6)	10.2	21,521	2,427 (11.3)	8.1		
3	大阪府	117,596	24,561 (20.9)	6.8	19,912	742 (3.7)	7.5		
4	神奈川県	94,489	16,561 (17.5)	5.5	16,925	1,404 (8.3)	6.3		
5	埼玉県	81,721	16,022 (19.6)	4.7	13,164	810 (6.2)	4.9		
6	千葉県	67,177	9,252 (13.8)	3.9	11,299	611 (5.4)	4.2		
7	静岡県	65,734	27,194 (41.4)	3.8	8,589	1,352 (15.7)	3.2		
8	福岡県	54,957	9,355 (17.0)	3.2	9,788	581 (5.9)	3.7		
9	群馬県	44,456	17,548 (39.5)	2.6	4,803	375 (7.8)	1.8		
10	兵庫県	44,441	7,081 (15.9)	2.6	8,286	486 (5.9)	3.1		
11	茨城県	39,479	6,763 (17.1)	2.3	6,711	409 (6.1)	2.5		
	全国計	1,724,328	342,179 (19.8)	100.0	267,243	19,005 (7.1)	100.0		

注1：「事業所数」欄中の「うち派遣・請負事業所(比率)」欄は、労働者派遣・請負事業を行っている事業所の数及び当該都道府県の外国人雇用事業所数に対する比率を示す。

注2：「外国人労働者数」欄中の「うち派遣・請負事業所(比率)」欄は、労働者派遣・請負事業を行っている事業所に就労している外国人労働者数及び当該都道府県の外国人労働者数に対する比率を示す。なお、労働者派遣事業等を行っている事業所に就労している外国人労働者のすべてが派遣労働者等であるとは限らない。

注3：「構成比」欄は、事業所総数及び外国人労働者総数（全国計）に対する、各都道府県の事業所数及び外国人労働者数の比率を示す。また、各都道府県の構成比の数値は四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

(4) 茨城県及び県内市町村の姉妹都市提携状況

(令和3(2021)年2月末日現在)

市町村名	姉妹都市等提携都市	提携年月日
茨城県	エミリア・ロマーニャ州 (イタリア)	昭和61(1986)年4月17日
	エソンヌ県 (フランス・イル・ド・フランス州)	昭和61(1986)年4月22日
水戸市	アナハイム (米国・カリフォルニア州)	昭和51(1976)年12月21日
	重慶市 (中国・四川省) ※友好交流都市	平成12(2000)年6月6日
日立市	バーミングハム市 (米国・アラバマ州)	昭和57(1982)年4月23日
	タウランガ市 (ニュージーランド)	昭和63(1988)年4月18日
土浦市	パロアルト市 (米国・カリフォルニア州)	平成21(2009)年4月7日
北茨城市	ワイロア地区 (ニュージーランド)	平成11(1999)年5月8日
常陸太田市	余姚市 (中国・浙江省) ※友好交流都市	平成11(1999)年11月17日
東海村	アイダホ・フォールズ (米国・アイダホ州)	昭和56(1981)年7月3日
那珂市	オークリッジ (米国・テネシー州)	平成2(1990)年10月29日
古河市	三河市 (中国・河北省) ※友好交流都市	平成11(1999)年11月6日
結城市	メッヘレン (ベルギー・アントワープ州)	平成8(1996)年10月31日
	メーサイ市 (タイ)	平成24(2012)年11月19日
取手市	ユバ市 (米国・カリフォルニア州)	平成1(1989)年11月28日
	桂林市 (中国・広西壮族自治区) ※友好交流都市	平成2(1990)年5月7日
牛久市	ホワイトホース (カナダ・ユーコン準州)	昭和60(1985)年4月19日
	オレンジ (オーストラリア・ニューサウスウェールズ州)	平成2(1990)年7月28日
	グレーヴェ・イン・キアンティ市 (イタリア・トスカナ州フィレンツェ県)	平成25(2013)年12月16日
つくば市	ケンブリッジ (米国・マサチューセッツ州)	昭和59(1984)年5月8日
	アーバイン (米国・カリフォルニア州)	平成1(1989)年8月3日
	深圳市 (中国・広東省) ※友好交流都市	平成16(2004)年6月9日
	グルノーブル市 (オーヴェルニュ・ローヌ・アルプ州イゼール県)	平成25(2013)年11月12日
鹿嶋市	塩城市 (中国・江蘇省) ※友好交流都市	平成14(2002)年11月8日
	西帰浦市 (韓国・済州道)	平成15(2003)年11月26日
守谷市	マインブルク (ドイツ・バイエルン州)	平成2(1990)年11月3日
	グリーンリー (米国・コロラド州)	平成5(1993)年8月3日
坂東市	パインブラフ (米国・アーカンソー州)	昭和61(1986)年11月9日
	タリ市 (パプアニューギニア・ヘラ州)	平成16(2014)年7月10日
稲敷市	サーモンアーム市 (カナダ・ブリティッシュコロンビア州)	平成18(2006)年3月27日
神栖市	ユリカ市 (米国・カリフォルニア州)	平成3(1991)年11月17日
	上虞市 (中国・浙江省) ※友好交流都市	平成21(2009)年2月16日
小美玉市	アビリン (米国・カンザス州)	昭和59(1984)年10月3日
美浦村	桂林市臨桂県 (中国・広西壮族自治区) ※友好交流都市	平成2(1990)年11月
阿見町	スーペリア (米国・ウィスコンシン州)	平成7(1997)年4月11日
境町	マリキナ市 (フィリピン・マニラ都市圏)	平成29(2017)年5月17日
	ホノルル市 (米国・ハワイ州)	平成30(2018)年9月25日
桜川市	シリストラ市 (ブルガリア・シリストラ州)	平成28(2016)年9月14日
	バコール市 (フィリピン・カヴィデ州)	平成30(2018)年5月23日
笠間市	ラール市 (ドイツ・バーデン・ヴュルテンベルク州)	平成30(2018)年5月13日

【合 計】 1 県 23 市町村

【提携都市】 41 都市 (米国 14、中国 8、ドイツ 2 ほか)

(5) 日立市の国際交流のあゆみ（年表）

年	国際親善姉妹都市との交流		その他
	バーミングハム市	タウランガ市	
1973 (S48)			日立国際友好協会(HIFA)発足
1974 (S49)			ドイツ(旧西ドイツ)少年少女合唱団、デンマーク体操親善訪問団が来市 HIFA が小・中学校の児童生徒との交流を企画
1975 (S50)			日立市紹介パンフレット(英文)を作成
1979 (S54)			市制 40 周年を記念し、海外都市との姉妹都市提携について検討開始
1980 (S55)	(4月)バーミングハム市から、姉妹都市提携の希望が寄せられる。		
1981 (S56)			(10月)バーミングハム市との姉妹都市提携推進を目的に、姉妹都市提携協議会が発足 (10月)HIFA がフィリピンへ親善訪問団を派遣 バスケットボールや衣類を贈る。
1982 (S57)	(4月23日)姉妹都市提携調印式出席のため、立花市長(当時)一行がバーミングハム市を訪問		(1月)姉妹都市提携協議会を発展させ、日立姉妹都市協議会が発足
1983 (S58)	(4月)バーミングハム市リチャード・アーリントン市長(当時)一行 15人が来市 学校訪問、企業見学等を通じて交流を深める。 (8月)バーミングハム市からバルカン像と石灯ろうの交換について提案が寄せられる。		
1984 (S59)	(8月)バーミングハム市から、最初の英語指導助手(AET)を任用 (12月)茨城大学とアラバマ大学バーミングハム校(UAB)が大学間協定を締結		
1985 (S60)	(7月)国際青年年に伴い、バーミングハム市青少年一行が来市 (7月)日立市からバーミングハム市に石灯ろうを贈る。 (9月)バーミングハム市からバルカン像が贈られる。 (10月)バルカン像贈呈式出席のため、バーミングハム市議会議長一行が来市 (11月)石灯ろう贈呈式出席のため、市民訪問団 15人がバーミングハム市を訪問 (8月)第1回姉妹都市交歓研修生として、中学生 7人がバーミングハム市を訪問	(11月)タウランガ市ノエル・ポープ市長(当時)夫妻が来市し、姉妹都市提携の希望を寄せる。	

年	国際親善姉妹都市との交流		その他
	バーミングハム市	タウランガ市	
1986 (S61)	(8月)アラバマ大学演劇グループが来市 市民会館等で公演を行う。	(6月)市民みこし訪問団 151人がNZ ジャパンウィークに参加したほか、タウランガ市を訪問	
1987 (S62)	(8月)第2回姉妹都市交歓研修生7人がバーミングハム市を訪問	(8月)タウランガ市男子高校(タウランガ・ボーイズ・カレッジ(TBC))生徒20人が来市 (12月)タウランガ市との姉妹都市提携について市議会で議決	(7月)日立アメリカ社(日立製作所の米国現地法人)の後援により、米国人教師4人が来市(日米欧教諭交流プログラム(HISTEP))
1988 (S63)		(3月)ボーイスカウト日立第5団の青少年がタウランガ市を訪問 (3月)第3回姉妹都市交歓研修生14人がタウランガ市を訪問 (4月18日)姉妹都市提携 (4月)調印式出席のため、ポープ市長(当時)ほか、タウランガ市民58人が来市 併せてNZ物産展を開催 (4月)タウランガ市から最初のAETを任用 (10月)第1回日立市民親善訪問団一行40人がタウランガ市を訪問	(4月)市に国際交流室(担当)を設置
1989 (H1)	(3月)第4回姉妹都市交歓研修生14人がバーミングハム市を訪問 (8月)市制50周年を記念し、バーミングハム市青少年一行17人が来市 (9月)市制50周年を記念し、バーミングハム市から絵画が寄せられ、市展において展示	(8月)市制50周年を記念し、タウランガ市から青少年一行17人が来市 (9月)市制50周年を記念し、タウランガ市から写真が寄せられ、市展において展示	(3月)日立アメリカ社の後援により、市内中学教師を米国に派遣(HISTEP)(~H20) (5月)日立姉妹都市協議会を発展させ、日立国際交流協議会が発足
1990 (H2)	(1月)市内の造園業者が「緑の使節団」としてバーミングハム市を訪問 桜の記念植樹やホームビジット等を通じて交流を深める。 (10月)市民訪問団26人(公募)が「フレンドシップツアー」としてバーミングハム市を訪問	(3月)日立南ロータリークラブとタウランガ南ロータリークラブが姉妹クラブを提携 (4月)タウランガ市キース・クラーク市長(当時)夫妻一行来市 (7月)第5回姉妹都市交歓研修生14人がタウランガ市を訪問 (10月)NZ建国150周年を記念して開催されたNZ姉妹都市サミット(オークランド市・タウランガ市)に、市長代理として水庭収入役(当時)が参加	(7月)在住外国人向け生活ガイドブック「Living guide in Hitachi」を発行 (7月)英文月間イベント情報誌HYOTANを発行(~H18)
1991 (H3)	(7月)第6回姉妹都市交歓研修生14人がバーミングハム市を訪問 (10月)アラバマ大学バーミングハム校代表者が来市	(2月)日高小学校と成沢小学校でタウランガ市小学生の絵画を展示 (8月)TBC生徒16人が来市 タウランガ市の教育事情を聞く集いを開催 (8月)ボーイスカウト日立第1団がタウランガボーイスカウト第1団と姉妹団提携	(7月)HIFAと日立青年会議所の共同編集により、英文の市街地図「Making moves in Hitachi」を発行 (10月)カリフォルニア州との同時開催による「クリスト・アンブレラ展」を実施 市職員6人を海外研修に派遣(以降毎年)

年	国際親善姉妹都市との交流		その他
	バーミングハム市	タウランガ市	
1992 (H4)	(3月)バーミングハム市から中学生親善姉妹都市研修団 28 人が来市	(7月)第7回姉妹都市交歓研修生 14 人がタウランガ市を訪問	(2月)姉妹都市紹介パンフレットを発行
	(5月)バーミングハム市在住の元米国海軍指揮者が来市し、日立市民吹奏楽団で客演	(10月)第2回日立市民親善訪問団 34 人がタウランガ市を訪問	
	(7月)姉妹都市提携 10 周年を記念し、青少年親善大使 16 人がバーミングハム市を訪問		
1993 (H5)	(2月)日立市民まちづくり視察団 16 人がバーミングハム市を訪問	(8月)TBC 生徒 17 人が来市	(2月)市職員 97 人と外国人留学生との意見交換会や異文化理解研修会を開催
	(4月)バーミングハム市市民訪問団 16 人が来市	(9月)姉妹都市提携 5 周年を記念し、クラーク市長(当時)及び市民訪問団 34 人が来市。シビックセンターでマオリグループによるコンサートを開催	(3月)外国人向け生活情報ガイドブック「Living guide for Hitachi」(英語併記)発行
	(4月)バーミングハム広域圏開発局長一行 6 人が来市 両市の経済状況懇談のため、日立商工会議所を訪問		(4月)単身の男子留学生ための滞在施設「おおせ国際寮」を開設
	(8月)第8回姉妹都市交歓研修生 14 人がバーミングハム市を訪問		(9月)HIFA が外国人向けの情報提供のため、「インフォメーション・デスク」を開設
1994 (H6)	(6月)バーミングハム市青少年親善大使 20 人が来市	(7月)第9回姉妹都市交歓研修生 14 人がタウランガ市を訪問	
	(12月)(財)日立市科学文化情報財団主催のひたちパソコン画伯コンテストに、バーミングハム市民の作品が応募される。(～H16)	(9月)マウント・マンガヌイ高校生 14 人が来市	
		(10月)日立市女声合唱団がタウランガ市を訪問し、コンサートを開催 (12月)タウランガ男子高校ラグビーチーム 33 人が来市	
1995 (H7)	(8月)第10回姉妹都市交歓研修生 14 人がバーミングハム市を訪問	(8月)TBC 生徒 17 人が来市	(3月)日立市の市民みこしが、ハワイの「第1回ホノルルフェスティバル」に参加 (4月)市内の国際交流ボランティアグループの編集により「Bilingual Guidebook for Hitachi -日英語による日立ガイドブック」を発行 (10月)グラスネット(草の根国際交流全国ネットワーク)フォーラム全国大会が日立市で開催
1996 (H8)	(3月)アラバマ大学バーミングハム校(UAB)の副学長と国際センター長が来市し、講演会を行う。	(1月)日立商工会議所の経済視察団 18 人がタウランガ市を訪問	
	(5月)バーミングハム市青少年親善大使 31 人が来市	(2月)タウランガ市から経済視察団 4 人が来市	
	(6月)日立第二高等学校にバーミングハム市から 2 人が留学	(7月)第11回姉妹都市交歓研修生 14 人がタウランガ市を訪問	
	(10月)飯山市長(当時)と市民訪問団 21 人がバーミングハム市を訪問	(9月)ポーブ市長(当時)を団長とする市民訪問団 6 人が来市	

年	国際親善姉妹都市との交流		その他
	バーミングハム市	タウンガ市	
1997 (H9)	(7月)姉妹都市提携15周年を記念し、バーミングハム市市民訪問団11人が来市	(4月)日立商工会議所がタウンガ市英語学校長及び理事と懇談	(5月)NZ 全権特命大使が来市し、飯山市長(当時)を表敬訪問 姉妹都市交流等についての意見交換を実施
	(7月)第12回姉妹都市交歓研修生14人がバーミングハム市を訪問	(7月)TBC生徒21人が来市	(6月)韓国の地方自治体行政視察団21人が来市
	(10月)行政視察のため、市職員2人をバーミングハム市へ派遣		(7月)オーストリア・ヴィーゼルブルグ市の音楽学校生徒が来市し、コンサートを開催 (10月)フルブライトメモリアル基金教員プログラムとして、米国教師20人が来市
1998 (H10)	(3月)バーミングハムの鈴木メソッド・バイオリングループ38人が来市し、コンサートを開催	(1月)タウンガ市男子高校生1人が、多賀高校に長期(1年)留学	(4月)日立市教育プラザ内に「国際交流サロン」を開設
	(5月)リチャード・アーリントン市長(当時)を団長に、バーミングハム市市民訪問団4人が来市	(5月)姉妹都市提携10周年を記念し、第3回日立市民親善訪問団50人がタウンガ市を訪問	
	(5月)バーミングハム市青少年親善大使25人が来市	(7月)第13回姉妹都市交歓研修生14人がタウンガ市を訪問	
	(7月)バーミングハム市の中学生1人が来市し、市民宅にホームステイ	(8月)タウンガ市民2人が市内視察のため来市	
	(8月)米国アラバマ・バレエ団芸術監督が来市	(11月)日立市産業祭でタウンガ市の物産等の紹介コーナーを設置	
1999 (H11)	(7月)バーミングハム市市民訪問団8人が来市	(4月)タウンガ市男子高校生1人が、多賀高校に長期(8ヶ月)留学	(6月)中国の新聞社一行が来市
	(7月)第14回姉妹都市交歓研修生14人がバーミングハム市を訪問		(7月)スペイン・リア氏の音楽グループ118人が来市し、市内の音楽グループとジョイント・コンサートを開催 (8月)日独スポーツ少年団同時交流で、ドイツの青少年グループ12人が来市
2000 (H12)	(5月)バーミングハム市青少年親善大使23人が来市	(7月)TBC生徒13人が来市 (7月)第15回姉妹都市交歓研修生14人がタウンガ市を訪問	
2001 (H13)	(5月)バーミングハム市青少年ジャズグループ21人が来市し、演奏会を開催	(4月)ポープ市長一行7人が来市し、さくらまつりを見学	(3月)市勢ガイドブック「Welcome to Hitachi」(日本語・英語併記)を改定
		(7月)タウンガ市ガールガイド6人が、ガールスカウト日立クラブの招待で来市	
	(8月)第16回姉妹都市交歓研修生14人がバーミングハム市を訪問	(7月)日立市の三味線奏者(高校生)が、ポープ市長の招待で1ヶ月間タウンガ市に滞在し、演奏会を開催 (12月)タウンガ市のピアニストが、約1ヶ月半にわたり来市し、記念コンサートを開催	
2002 (H14)	(7月)姉妹都市提携20周年を記念して、樫村市長(当時)と市民訪問団23人がバーミングハム市を訪問	(6月)タウンガ市の青少年奉仕グループ16人が来市	

年	国際親善姉妹都市との交流		その他
	バーミングハム市	タウランガ市	
2002 (H14)	(10月)バーミングハム市のジャズ演奏者21人が来市し、コンサートを開催	(7月)第17回姉妹都市交歓研修生14人がタウランガ市を訪問	
	(11月)日立市産業祭でバーミングハム市のキルトを展示販売	(11月)日立市産業祭でタウランガ市の物産等の紹介コーナーを設置	
2003 (H15)	(3月)バーミングハム市の宇宙飛行士が来市し、第11回国際シンポジウムへの出演や駒王中学校での講演を行う	(3月)ガールスカウト日立クラブ団員10人がタウランガ市を訪問	
	(7月)バーミングハム市姉妹都市日本委員会のメンバー1人が来市	(5月)タウランガ市のピアニストと彫刻家が来市し、日立交響楽団との合同コンサートや彫刻展を開催	
	(7月)バーミングハム市で「日立キルト展」が開催 日立市のキルト愛好家の作品14点が紹介される。	(8月)KIWI-HITACHI CLUBのメンバー6人がタウランガ市を訪問 (10月)タウランガ市写真協会メンバーが来市し、シビックセンター及び市内百貨店において写真展を開催	
2004 (H16)	(10月)バーミングハム市のキルト作家をはじめとするアーティスト12人が来市	(2月)日立工業専修学校生徒がタウランガ市を訪問 (7月)TBC生徒15人が来市	
	(10月)第1回フレンドシップ・キルト展開催 日立市民とバーミングハム市民の作品展示のほか、フレンドシップ・キルトの交換を行う。	(7月)第19回姉妹都市交歓研修生14人がタウランガ市を訪問 (10月)KIWI-HITACHI CLUBのメンバーがタウランガ市を訪問し、ガーデンフェスティバルに参加	
	(8月)第20回姉妹都市交歓研修生15人がバーミングハム市を訪問	(2月)日立工業専修学校生徒がタウランガ市を訪問 (4月)タウランガ市長一行11人が来市し、さくらまつり、日立さくらロードレース参加のほか、第1回日立市・タウランガ市姉妹都市会議、記念植樹等を行う。 (4月)タウランガ・ガールガイド一行10人が来市	
2005 (H17)	(10月)第13回世界地方都市十字路会議に伴い、バーミングハム市からパネリスト1人が来市	(11月)日立市産業祭で日立商工会議所がタウランガ市の物産等の紹介コーナーを設置	
	(11月)第2回フレンドシップ・キルト展で、バーミングハム市民の作品9点を展示		
2006 (H18)	(4月)バーミングハム・インターナショナル・フェスティバル参加のため、市民訪問団41人がバーミングハム市を訪問し、日立風流物からくり人形や能楽を披露	(2月)日立工業専修学校生徒がタウランガ市を訪問 (6月)国際親善姉妹都市実務研修派遣として、市職員1人をタウランガ市に9ヶ月派遣。タウランガ市役所市民サービス課において実務研修を実施	(8月)第25回日中学生会議第10回日本大会が日立市で開催され、中国各地の留学生31人が来市
	(6月)バーミングハム市青少年訪問団14人が来市	(7月)TBC生徒13人が来市 (7月)第21回姉妹都市交歓研修生15人がタウランガ市を訪問	(9月)日立市の観光ガイドマップを英語・中国語・韓国語版で作成
	(9月)第3回フレンドシップ・キルト展で、バーミングハム市民の作品9点を展示	(8月)日立第二高等学校生徒19人がタウランガ・ガールズ・カレッジ(TGC)との交流のため、タウランガ市を訪問	(12月)韓国江原道行政視察団9人が来市し、日立地区産業支援センター等の視察を行う。

年	国際親善姉妹都市との交流		その他
	バーミングハム市	タウランガ市	
2006 (H18)		(11月)日立市産業祭で日立商工会議所がタウランガ市の物産等の紹介コーナーを設置	
2007 (H19)	(6月)かみね動物園開園50周年記念式典への出席及び動物交換事業の協議を行うため、バーミングハム市動物園代表者1人が来市	(1月)日立工業専修学校生徒がタウランガ市を訪問	(2月)奥日立きららの里にモンゴル国オブス県の有志の協力により、ゲル(遊牧民が利用する伝統的な住居)を設置し、「モンゴルの丘」を開設
	(8月)第22回姉妹都市交歓研修生15人がバーミングハム市を訪問	(2月)茨城キリスト教大学生9人が、海外提携大学であるNZワイカト大学で語学研修を実施するにあたり、タウランガ市でホームステイプログラムを実施	(8月)姉妹都市の概要・交流のあゆみ等の紹介パンフレット「Our Sister Cities」を発行
		(3月)ガールスカウト日立クラブ団員10人が、タウランガ・ガールガイドとの交流のためタウランガ市を訪問	
	(9月)第4回フレンドシップ・キルト展で、バーミングハム市民の作品6点を展示	(9月)タウランガ市ベツレヘムカレッジ生徒17人が来市	(10月)在住外国人向け生活・健康無料相談会を実施(以降毎年)
(11月)姉妹都市提携20周年を迎えるにあたり、檜村市長を団長とするタウランガ市親善訪問団35人を派遣し、第2回日立市・タウランガ市姉妹都市会議で幅広い分野における長期的な交流事業についての具体的な協議を行ったほか、主要施設調査等を実施			
(11月)日立市産業祭で日立商工会議所がタウランガ市の物産等の紹介コーナーを設置			
2008 (H20)	(3月)バーミングハム市動物園で開催される「全米動物園協会地区会議」に出席するため、市職員2人をバーミングハム市に派遣	(2月)日立工業専修学校生徒がタウランガ市を訪問	(4月)多賀消防署において、外国人研修生26人を対象に、年3回防火・安全対策講話を実施
		(2月)茨城キリスト教大学生9人が、NZワイカト大学で語学研修を実施するにあたり、タウランガ市でホームステイプログラムを実施	
	(6月)バーミングハム市青少年訪問団8人が来市	(4月)姉妹都市提携20周年を記念してタウランガ市シュアート・クロスビー市長一行が来市。20周年記念セレモニー(新協定書調印式)や第3回日立市・タウランガ市姉妹都市会議、さくらまつり見学、市内視察等を実施	(10月)かみね動物園飼育員研修として、米国に飼育員1人を派遣
		(7月)中学生海外短期留学支援事業として、中学生11人がタウランガ市を訪問	
(8月)第23回姉妹都市交歓研修生15人がタウランガ市を訪問			
	(11月)日立市産業祭で日立商工会議所がタウランガ市の物産等の紹介コーナーを設置		
2009 (H21)	(2月)第5回フレンドシップ・キルト展で、バーミングハム市民の作品8点を展示	(2月)日立工業専修学校生徒100人がタウランガ市を訪問	(2月)市HPをリニューアルし、掲載情報を英語・中国語・韓国語に翻訳できる機能を設置

年	国際親善姉妹都市との交流		その他
	バーミンガム市	タウランガ市	
2009 (H21)	(6月)バーミンガム市少年合唱団一行55人が来市し、フレンドシップ・コンサートの開催したほか、大久保小学校訪問、市内視察等を実施	(2月)茨城キリスト教大学生4人が、海外提携大学であるNZワイカト大学(タウランガ市)で語学研修を実施	(4月)消防本部において、外国人研修生81人を対象に、防火・安全対策講話を年4回実施
		(4月)タウランガ市ガールガイド一行11人が、ガールスカウト日立クラブの招待で来市	
		(7月)タウランガ市経済団体職員1人が来市し、樫村市長(当時)表敬訪問及び日立商工会議所訪問、「ひたち環境都市フェスタ2009」の視察等を実施	(5月)自治体職員協力交流事業として、中国から自治体職員1人を6ヶ月間受入れ、上下水道についての技術研修を実施
		(11月)日立市産業祭で日立商工会議所がタウランガ市の物産等の紹介コーナーを設置したほか、タウランガ市地元企業関係者2人が参加	(10月)医療通訳ボランティア研修会(全3回)を実施
2010 (H22)	(2月)第6回フレンドシップ・キルト展開催で、バーミンガム市民の作品13点を展示	(2月)日立工業専修学校生徒104人がタウランガ市を訪問	(6月)消防本部において、外国人研修生34人を対象に、防火・安全対策講話を実施
	(6月)バーミンガム市青少年訪問団11人が来市	(2月)茨城キリスト教大学生6人が、NZワイカト大学(タウランガ市)で語学研修を実施	
	(7月)未来の科学者海外派遣事業として、中学生15人がバーミンガム市ほか2都市を訪問	(7月)中学生海外短期留学支援事業として、中学生12人がタウランガ市を訪問	
		(11月)日立市産業祭で日立商工会議所がタウランガ市の物産等の紹介コーナーを設置したほか、タウランガ市地元企業関係者1人が参加	
2011 (H23)	(2月)第7回フレンドシップ・キルト展で、バーミンガム市民の作品8点を展示	(2月)日立工業専修学校生徒107人がタウランガ市を訪問	(1月)通訳ボランティア養成講座(全3回)を開催
	(6月)バーミンガム市の子どもたちから東日本大震災復興応援メッセージ・絵画等約700点が届く。	(8月)日立第二高等学校生13人が、NZ短期留学として、タウランガ・ガールズ・カレッジでの授業参加、ホームステイ等を実施	
	(8月)バーミンガム市から東日本大震災復興応援寄付金として30,000米ドル(2,312,700円)が贈られる。	(8月)タウランガ市から東日本大震災復興応援寄付金として5,000NZドル(318,750円)が贈られる。	(6月)日立国際交流協議会ツイッターでの国際交流関係の情報提供を開始
	(9月)日立市の子どもたちからバーミンガム市へ、東日本大震災時の支援に対するお礼のメッセージ約700点を送付	(11月)タウランガ市経済団体職員6人が来市し、吉成市長表敬訪問及び市内視察等を実施	
	(11月)バーミンガム市ロータリークラブから復興応援寄付金として5,000米ドル(385,750円)が贈られる。	(11月)日本・NZ経済人会議に市職員2人が参加	
	(11月)日立市産業祭で日立商工会議所がタウランガ市の物産等の紹介コーナーを設置したほか、タウランガ市地元企業関係者2人が参加		

年	国際親善姉妹都市との交流		その他
	バーミングハム市	タウランガ市	
2012 (H24)	(2月)第8回フレンドシップ・キルト展で、バーミングハム市民の作品5点を展示	(2月)第8回フレンドシップ・キルト展で、タウランガ市民の作品2点を展示	(9月)外国人17人参加のもと、防災訓練を実施
		(2月)日立工業専修学校生徒90人がタウランガ市を訪問	
	(3月)東日本大震災時の支援に対するお礼として、第8回フレンドシップ・キルト展で市民参加のもと作成したキルト作品をバーミングハム市に送付	(3月)東日本大震災時の支援に対するお礼として、第8回フレンドシップ・キルト展で市民参加のもと作成したキルト作品をタウランガ市に送付	
		(3月)ガールスカウト日立市国際交流委員会メンバー8人がタウランガ市を訪問し、姉妹都市交流キャンプ等を実施	
	(5月)姉妹都市提携30周年記念写真展を開催	(10月)吉成市長を団長とするタウランガ市親善訪問団11人を派遣し、第4回日立市・タウランガ市姉妹都市会議で、今後の交流についての事務レベルでの協議を実施	
	(6月)UAB 学生一行12人が来市		
	(6月)姉妹都市提携30周年記念フレンドシップイベントの開催	(10月)TGC 校長夫妻来市	
(9月)バーミングハム市ウィリアム・ベル市長が来市 市防災担当者や教育担当者との懇談を行う。	(11月)日立市産業祭で日立商工会議所がタウランガ市の物産等の紹介コーナーを設置したほか、タウランガ市地元企業関係者2人が参加		
(11月)姉妹都市提携30周年記念写真展を開催			
2013 (H25)	(2月)第9回フレンドシップ・キルト展で、バーミングハム市民の作品5点を展示	(2月)第9回フレンドシップ・キルト展で、タウランガ市民の作品6点を展示	(8月)日独スポーツ少年団同時交流で、ドイツの青少年グループ11人が来市
		(2月)日立工業専修学校生徒87人がタウランガ市を訪問	
	(4月)吉成市長及び市内医療関係者等5人がバーミングハム市を訪問	(4月)タウランガ市インターメディアイト・スクール学部長等3人来市 (4月)タウランガ市ガールガイド一行10人が、ガールスカウト日立クラブの招待で来市	(10月)日立港とメルセデス・ベンツのドイツ本社関連により吉成市長一行11人がドイツを訪問
(8月)UAB 講師1人が来市し、茨城キリスト教大学でイングリッシュキャンプを実施	(11月)日立市産業祭で日立商工会議所がタウランガ市の物産等の紹介コーナーを設置したほか、タウランガ市地元企業関係者2人が参加		
2014 (H26)	(2月)第10回フレンドシップ・キルト展で、バーミングハム市民の作品6点を展示	(2月)第10回フレンドシップ・キルト展で、タウランガ市民の作品5点を展示	
		(2月)日立工業専修学校生徒94人がタウランガ市を訪問	
(5月)バーミングハム市学校関係者1人が来市	(4月)タウランガ市スチュアート・クロスビー市長一行が来市 第5回日立市・タウランガ市姉妹都市会議やさくらまつり見学、市内視察等を実施		

年	国際親善姉妹都市との交流		その他
	バーミングハム市	タウランガ市	
2014 (H26)	(5月)UAB 学生一行 12 人が来市	(10月)日立ユネスコ協会が、私の町のたからもの絵画展で、タウランガ市の子どもたちの作品 20 点を展示	
	(7月)日立北高等学校生徒 13 人がバーミングハム市を訪問		
	(8月)東日本大震災時の応援メッセージ等に対する謝意を伝えるため、中学生 15 人がバーミングハム市を訪問		
	(9月)バーミングハム市民訪問団 5 人が来市		
2015 (H27)	(3月)第 11 回フレンドシップ・キルト展で、バーミングハム市民の作品 6 点を展示	(3月)第 11 回フレンドシップ・キルト展で、タウランガ市民の作品 8 点を展示	
	(6月)バーミングハム市キルトショーで、日立市のキルト愛好家の作品 18 点が紹介	(3月)ガールスカウト日立市国際交流委員会メンバー 10 人がタウランガ市を訪問し、姉妹都市交流キャンプ等を実施	
	(7月)日立北高等学校生徒 13 人がバーミングハム市を訪問	(9月)タウランガ市経済担当者 2 人来市	
	(12月)アラバマ日米協会が開催したイベントで、日立市のキルト愛好家の作品 6 点が紹介	(11月)日立ユネスコ協会が、私の町のたからもの絵画展で、タウランガ市の子どもたちの作品 31 点を展示 (11月)ひたち生き生き百年塾が、まちへのラブレター国際絵画展で、タウランガ市の子どもたちの作品を展示	
2016 (H28)	(2月)マーク・ジャクソンバーミングハム市姉妹都市委員会委員長が来市	(5月)タウランガ市特別支援教育関係者 6 人が来市	(8月)外国人 5 人参加のもと、茨城県・高萩市総合防災訓練へ参加
	(2月)第 12 回フレンドシップ・キルト展で、バーミングハム市民の作品 6 点を展示		
	(5月)バーミングハム市青少年一行 15 人が来市		
	(7月)日立北高等学校生徒 9 人がバーミングハム市を訪問	(9月)タウランガ市青少年一行 7 人が来市	
	(9月)マーク・ジャクソンバーミングハム市姉妹都市委員会委員長ほか 1 人が来市		
	(10月)副市長を代表とした産業交流ミッション団 10 人を派遣		
	(11月)日立総合病院からUAB附属病院に医師 2 人を派遣		
(12月)バーミングハム市大学生グループ 6 人が来市	(11月)日立ユネスコ協会が、私の町のたからもの絵画展で、タウランガ市の子どもたちの作品 30 点を展示	(11月)外国人 3 人参加のもと、日立市と日立国際交流協議会共催の防災訓練に参加	

年	国際親善姉妹都市との交流		その他
	バーミンガム市	タウランガ市	
2017 (H29)	(2月)第13回フレンドシップ・キルト展で、バーミンガム市民の作品6点を展示	(2月)日立工業専修学校生徒90人がタウランガ市を訪問	
	(5月)元バーミンガム市姉妹都市委員会委員長を含む、バーミンガム市民訪問団5人が来市	(9月)タウランガ市青少年グループ9人が来市	
	(7月)日立北高等学校生徒13人がバーミンガム市を訪問	(10月)小川市長を団長とするタウランガ市親善訪問団13人を派遣し、第6回日立市・タウランガ市姉妹都市会議で、今後の交流についての協議を行ったほか、協議確認書の署人を行う。	
		(11月)日立ユネスコ協会が、私の町のたからもの絵画展で、タウランガ市の子どもたちの作品22点を展示	
2018 (H30)	(1月)副市長を代表とした産業交流団11人を派遣		(3月)外国人12人参加のもと、防災訓練を実施
	(2月)第14回フレンドシップ・キルト展で、バーミンガム市民の作品11点を展示	(2月)第14回フレンドシップ・キルト展で、タウランガ市民の作品8点を展示	
		(2月)日立工業専修学校生徒93人がタウランガ市を訪問	
	(5月)元バーミンガム市姉妹都市委員会委員長を含む、バーミンガム市民2人が来市		
	(5月)バーミンガム市青少年一行10人が来市		
	(7月)日立北高等学校生徒10人がバーミンガム市を訪問		
	(9月)バーミンガム市バルカン公園運営関係者等2人が来市	(8月)日立電鉄交通サービス(株)が主催する「第1回日立市中学生海外ホームステイ体験」に、市内中学生8人が参加	
		(9月)タウランガ市経済関係者が来市	
(9月)タウランガ市青少年一行5人が来市 (9月)タウランガ市姉妹都市提携30周年記念「姉妹都市交流写真パネル展」を開催			

年	国際親善姉妹都市との交流		その他
	バーミングハム市	タウランガ市	
2018 (H30)	(10月)日立市とバーミングハム市との産業コーディネーターである、カオリ・シェラー氏をはじめ、アラバマ日米協会役員等5人が来市	(10月)タウランガ市姉妹都市交流関係者が来市	
	(10月)前バーミングハム市姉妹都市委員会委員長をはじめ、バーミングハム市経済関係者等4人が来市		
2019 (H31、R1)	(2月)UAB職員を含むバーミングハム市民2人が来市	(2月)日立工業専修学校生徒93人がタウランガ市を訪問	(7月)サッカーを通じた国際交流を目的に、中国・北京市の中関村小学校グループ37人が来市
		(3月)ガールスカウト日立市国際交流委員会メンバー8人がタウランガ市を訪問し、姉妹都市交流キャンプ等を実施	(11月)県内の視察のため、中国・重慶市の重慶精英人士訪問団32人が来市 (11月)市内の視察のため、中国・四川省の四川師範大学附属実験学校の教員グループ13人が来市
	(5月)元バーミングハム市姉妹都市委員会委員長を含む、バーミングハム市民2人が来市	(6月)タウランガ市教育関係者3人が来市	
		(8月)茨城交通株が主催する「第2回日立市中学生海外ホームステイ体験」に、市内中学生5人が参加	
	(9月)タウランガ市青少年グループ6人が来市		
2020 (R2)		(2月)日立工業専修学校生徒78人がタウランガ市を訪問	
2021 (R3)	(6月)新型コロナウイルス感染拡大防止に役立ててもらうため、バーミングハム市及びタウランガ市にマスク各2万枚を送付		

【参考（定期的に実施している姉妹都市関係事業）】

- * ニュージーランド研修(日立工業専修学校):平成15(2003)年度～25(2013)年度(毎年)、平成28(2016)年度～(毎年)
- * フレンドシップ・キルト展:平成16(2004)年度～(毎年)
- * 日立市産業祭での姉妹都市コーナー設置:平成17(2005)年度～(毎年)
- * バーミングハム市青少年訪問団一行来市:平成18(2006)年度～(隔年)
- * 日立市・タウランガ市市長訪問団の相互訪問:平成20(2008)年度～(3年に1回)
第3回日立市・タウランガ市姉妹都市会議で決定(平成23(2011)年度は東日本大震災の影響により中止平成24(2012)年度に実施)
- * 中学生海外短期留学支援事業:平成20(2008)年度～26(2014)年度(毎年)
市内中学生のタウランガ市短期留学を支援(平成21(2009)年度は新型インフルエンザ流行により中止)
- * 未来の科学者海外派遣事業:平成21(2009)年度～23(2011)年度(毎年)
姉妹都市交歓研修生派遣事業を、科学教育に重点をおいた内容とした事業に変更。(平成21(2009)年度は新型インフルエンザ流行により中止)
- * 姉妹都市交歓研修生派遣事業:昭和61(1986)年度～平成20(2008)年度(毎年)
市内中学生を国際親善姉妹都市に派遣。第1回目はバーミングハム市、第2回目からバーミングハム市・タウランガ市に交互に派遣(平成15(2003)年度はSARS・テロ等の国際情勢の不安により中止)
- * タウランガ市男子高校(タウランガ・ボーイズ・カレッジ(TBC))生徒来市:平成3(1991)年度～18(2006)年度(不定期)

令和2（2020）年度わたちの国際交流

- 発行年月 令和3（2021）年3月
- 編集・発行 日立市生活環境部文化・国際課
- 連絡先 〒317-8601 日立市助川町1-1-1
TEL 0294（22）3111 内線535
FAX 0294（24）5301
E-mail : kokubun@city.hitachi.lg.jp

